

# 2026年度予算の概要

2026年度は、保険料率を107.97%（前年度108.03%）としました。収入の軸となる保険料は、被保険者数の減少が主な要因となり、前年度予算比1億1,309万円減の19億5,000万円を計上しました。

支出では、みなさまの医療費などに充てられる保険給付費が同1億757万円増、高齢者医療制度への納付金は同3億8,500万円減を見込んでいます。前年度より負担は減少するものの、これらの保険料に占める割合は合計で103%となり、依然として健保財政を圧迫しています。

以上のことから、経常収入は19億7,112万円、経常支出は21億2,141万円となり、経常収支差引額では1億5,029万円の赤字が見込まれます。支出に対する収入の不足分は、別途積立金等を取り崩して補い、合計は22億9,194万円としました。

## 保健事業の実施について



みなさまの健康づくりをサポートする保健事業は、第3期データヘルス計画および第4期特定健康診査等実施計画に基づいて計画し、2026年度予算では3,000万円を計上しました。

当健保組合では、健康診断を中心に健康増進事業を実施してまいります。みなさまにおかれましては、積極的に健康づくりに取り組んでいただくとともに、適正受診等、医療費の適正化にご協力いただきますようお願いいたします。

## 介護保険

介護保険料は、健保組合が国に代わって徴収しています。2026年度は介護保険料率を19.2%とし、介護保険収入は2億4,500万円を計上しました。一方、介護納付金は2億円とし、差し引きでは4,500万円の黒字となる見込みです。



## 子ども・子育て支援金



2026年4月から、「子ども・子育て支援金制度」が始まりました。この制度は、国が少子化対策として掲げる、こども未来戦略「加速化プラン」を実現するための財源を確保する制度です。健康保険などの医療保険制度に加入している被保険者と事業主が費用を負担し、子どもや子育て世帯を社会全体で支えることを目的としています。

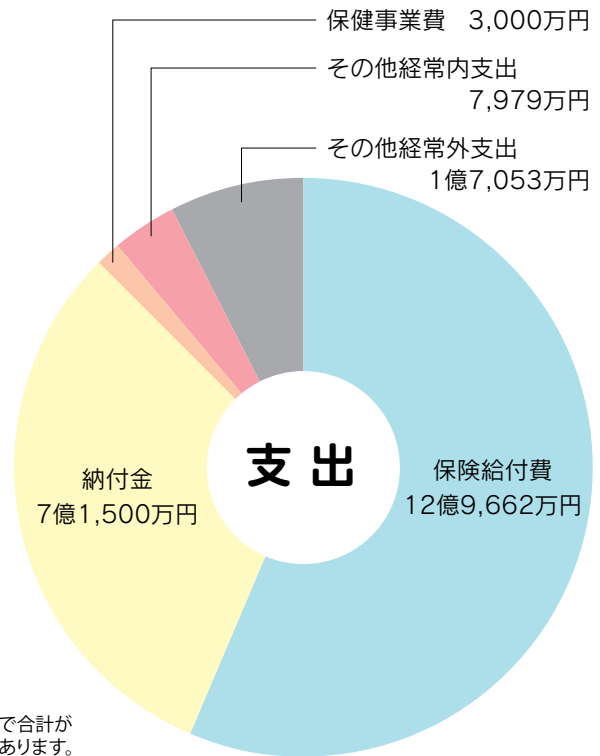
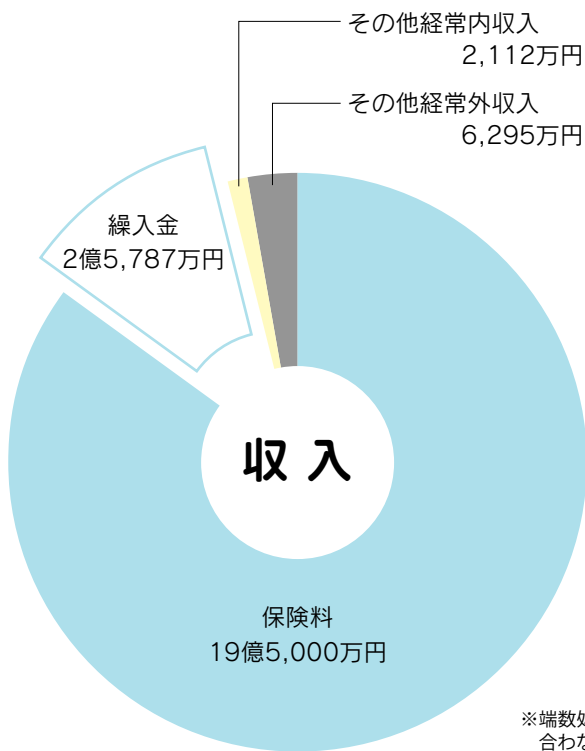
今年度の支援金率は0.23%（労使折半）で、4月分の保険料から徴収が始まります。なお、介護保険と同じく、健保組合は代行徴収機関を担います。

● 収 入 22億9,194万円

● 経常収入 19億7,112万円

● 支 出 22億9,194万円

● 経常支出 21億2,141万円



※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

## 健康保険

予算基礎数値

● 被保険者数	4,300人
男性	430人
女性	3,870人
● 平均年齢	44歳
男性	43歳
女性	44歳

● 被扶養者数	834人
● 前期高齢者加入率	0.70%
● 保険料率(調整保険料率含む)	107.97/1000

## 介護保険

予算基礎数値

● 介護保険第2号被保険者数	2,986人
----------------	--------

● 介護保険料率(事業主・被保険者折半)	19.2/1000
----------------------	-----------

予算の概要

収入	科目	予算額
収入	介護保険収入	2億4,500万円
	その他	10万円
	合計	2億4,510万円

支出	科目	予算額
支出	介護納付金	2億円
	その他	4,510万円
	合計	2億4,510万円

## 子ども・子育て支援金

予算基礎数値

● 子ども・子育て支援金率(事業主・被保険者折半)	2.3/1000
---------------------------	----------

予算の概要

収入	科目	予算額
収入	子ども・子育て支援金収入	4,000万円
	その他	15万円
	合計	4,015万円

支出	科目	予算額
支出	子ども・子育て支援納付金	3,900万円
	その他	115万円
	合計	4,015万円